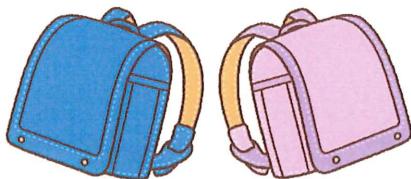


ふれんど通信

第43号

発行 令和4年6月23日 児童養護施設ふれんど
〒348-0047 埼玉県羽生市下新郷666 TEL048-560-5866



施設長 武藤裕之



4月から小学校に通い始めた新1年生がふれんどにもいます。小学生の子ども達は、学校から帰ってくると事務所に立ち寄り大きな声で「ただいま～」と声をかけてくれます。それが日課になっていて、私達職員も子ども達に日々元気をもらっています。

子どもの暮らしや学校に必要なものは、基本的に県からの公費でまかねません。ランドセルもそのうちのひとつです。保護者が希望すれば、子どもと一緒に買いに行ったり、親族が送ってくれることもありますが、大半のケースは施設で用意しています。

今から10年前に、児童福祉施設へのランドセルの寄付で全国的に話題となった「タイガーマスク運動」を覚えていらっしゃる方も多いと思います。当施設でも毎年12月24日の午後、仕事帰りにふらつと訪れたといった雰囲気の、スーツを着たビジネスマン風の男性が「子ども達のために」「匿名で」と告げて寄付をしてくださいます。あまりにも突然いらっしゃるので、お礼も満足にお伝えできず心残りに感じています。

話は少し逸れますが、児童養護施設の仕事は、保護者に代わって子どもを育てることだけではありません。子どもが保護者と再び一緒に暮らせるように、親子関係を調整するという役割も担っています。「家庭支援専門相談員」(ファミリーソーシャルワーカー、FSW)という専門職がその役目を担っています。当事者である子どもだけでなく家族まるごと支援の対象にしていることがその特徴と言えます。今後、児童養護施設においても、そういったアウトリーチにも力を入れていく必要を感じています。

ランドセルは「小学校に上がる」という記念を、親子で共有できますように」「親子の関係が途切れず、一緒に暮らせる準備が早く整いますように」という保護者や関係者の思いを伝えるひとつのきっかけでもあると思っています。

また、保護者の元を離れて生活している子どもたちも、支援をしてくださる方々や地域のみなさまの善意によって、孤独感が和らぐ機会をいただいております。小学校入学が「自分を思ってくれる人がいる」「私は愛されている」と感じる節目となって、心身共に大きく成長してくれることを願っています。



新任職員の紹介

- ① 名前
- ② 出身地
- ③ 趣味・特技
- ④ 好きな有名人
- ⑤ 苦手なこと・もの
- ⑥ ふれんどを選んだ理由
- ⑦ この1年の目標

① 東 耕雄

- ② 埼玉県
- ③ ゲーム、サッカー
- ④ 橋本 環奈
- ⑤ ネギが苦手です
- ⑥ 職員のフラットな感じや、資格を活かすことができると思ったからです。
- ⑦ 子どもとの距離を縮めながら、仕事を覚えていきたいです。



① 鶯巣 有希

- ② 埼玉県 行田市
- ③ ドライブ
- ④ Six TONES
- ⑤ 運動、虫
- ⑥ 実習や説明会に参加した際の職員と子どもの雰囲気がとても良かったからです。
- ⑦ 早く業務に慣れ、子どもたちや職員さんと仲良くなれるよう頑張ります



① 石橋 加菜

- ② 埼玉県 加須市
- ③ 料理
- ④ 嵐
- ⑤ 運動
- ⑥ 雰囲気や職員さんの温かいところが良いと思ったからです。
- ⑦ 子どもたちに信頼してもらえる職員になりたいです。



① 富永 彩音

- ② 埼玉県
- ③ 卓球
- ④ 松本 潤
- ⑤ ピーマン、虫
- ⑥ 職員間の風通しの良さ
- ⑦ 子どもたちと深く関わり、向き合う。



① 野口 有紀子

② 埼玉県 加須市

③ 映画観賞、お酒

④ 横浜 流星

⑤ 掃除、高野豆腐

⑥ ふれんどが出来る前から、この地にいました。必然的です。

⑦ 周囲のみんなも私も、心身ともに元気に過ごしたいです。



① 小坂 潤子

② 東京都 府中市

③ 音楽鑑賞

④ Snow Man の目黒君

⑤ うなぎ、カマキリ

⑥ 子どもが大好きだからです。

⑦ ふれんどの生活に慣れることからはじめます。皆さんと仲良くなりたいので、よろしくお願ひします。



よろしくお願ひします



昨年度棟外出

C棟『はなさき公園、ハイフラワー（いちご狩り）』



はなさき公園では芝生の上でお昼を食べたり、普段見慣れない“おもしろ自転車”で遊んだりしました。いちご狩りでは、ハイフラワーでしか食べられない種類のいちごがありました。どの種類も甘くてとても美味しかったです。みんなずっと笑顔で、貴重な体験が出来た一日でした♪



F棟『すたみな太郎』



外食へ行くのが一年振りという子もあり、車中からとても盛り上がってました。バイキング形式の食事が初めての児童もあり、最初は戸惑っていましたが色々なメニューに挑戦して楽しんでいました。感染対策を考慮しながらの食事でしたが、外食という特別感もあり児童、職員共に楽しい時間を共有する事が出来ました。



A棟・C棟・G棟『たけし亭』

コロナが落ち着かず…。計画を変更して、市内でコース料理を食べに行って来ました。「何でナイフとフォークがいっぱい並んでいるの？」「これは何の料理？」と、慣れない雰囲気の店内にソワソワしながらも興味津々な子どもたち。テーブルマナーを職員に教わり、苦戦しながらも楽しく食事をすることが出来ました。

R4 年度 棟リーダーのつぶやき…

A 棟(女子)



A 棟は、現在 6 名の子どもが生活しています(4 歳、小 1、小 5、小 6、中 2、高 3)。皆それぞれアニメやゲーム、アイドル等好きなものに熱中して過ごしています。

日々けんかやトラブルは多いですが、元気一杯です！

私個人のことでは、コロナ禍で、好きなアーティストの LIVE やフェスに行けず、気重な毎日です…。もっと Enjoy & Happy! にいきたいです！！

後藤

C 棟(女子)



今 C 棟には幼児 1、小学生 1、中学生 2、高校生 1 の計 5 人の児童がいます。今年度職員 2 名が新しく変わりましたが、休日にはお菓子作りをしたり、ゲームをしたり、ごっこ遊びをして楽しく過ごしています。

棟リーダーとなり思っていることが 2 つあります。

①「やる時はやる！」

②「楽しむときはみんなで楽しく！」

職員も児童も全員が充実した日々を過ごせるように、1 年間切磋琢磨していきます。

松田

D 棟(女子)



(子どもの恋や部活の話を聞いている時のつぶやき…)

青春ていいな、若さっていいな、輝いているな…。

自分はどんどん老していくけど、子どもから若さをもらって、気持ちだけ若くいたいな…。

櫻井

E 棟(男子)



春前くらいにパクチーの種を植えたら、おいしいパクチーがたくさん育ちました。

自分はとてもおいしいと思うのに、妻と息子から「冷蔵庫がくさい」と文句を言われて、とても悲しいです。

「下着一緒に洗わないで」と同じレベルです…。

今村

F棟(男子)



天気が良い日に「今日も1日頑張ろう」と思うけど、青空を見上げて、大きく深呼吸をしたら、あせらず、ゆっくり仕事が出来ることに気づいた。

これからものんびり過ごしたい。

清水

G棟(男子)



今年のG棟は、高校生が5人、小学生が1人の計6人でスタートです。

高校3年生が3人いるため、皆自分の決めた進路に突き進んでもらいたいです。

普段はゲームばかりの男の子たちですが、皆優しい面を持っています。そして元気いっぱいです！

今年1年、子ども達も職員も元気に楽しく過ごしていきたいと思います！！

上原

地域小規模児童養護施設あすなろ(女子)



コロナ禍になって2年が過ぎ、最近では行動制限の緩和がされ、学校行事やイベントが増えました。

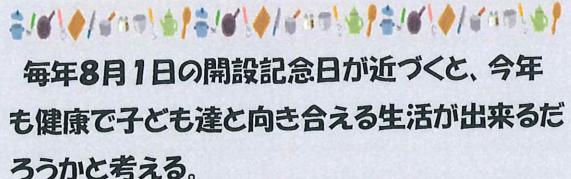
昨年度は棟旅行が思うようにできず、不完全燃焼に終わりました。今年こそは子ども達に様々なことを経験させ、思い出に残ることができたらと思っています。

もちろん、感染予防に努めますが、遊園地・BBQ・かき氷・花火…どんな計画になるか楽しみです。

田中



ファミリーホームしらかば(男子)



毎年8月1日の開設記念日が近づくと、今年も健康で子ども達と向き合える生活が出来るだろうかと考える。

今年は活発な小4、小5、中1の3人と、思春期だけどとても甘えん坊の高校生2人計5人の生活がスタートした。特にここ数年静かだったしらかばは、いい意味でも悪い意味でもとても活発になった。そんな中、活発に外で遊ぶ子どもを見て、「あー9年前は私があの中にいたのに」と、今は外で見守っている自分自身に、9年の歳月を感じることが多々ある。しかし、その分外遊びは若い職員にバトンタッチをし、花を植えたり野菜を作ったり、子ども達の大好きな漬物を作つてあげる時間が増えた。「この漬物おいしい」と言われると、次は何を作ろうかと考える。ラッキョウを漬け、次は梅ジュースの時期かななどと考え、子ども達に食を通して、旬の食材を使い旬の食事を提供できるよう頑張るぞーと思う毎日である。

横室

日誌



※毎月、職員会議・自立支援検討会議・事例検討会議を実施
※随時、職員研修を実施

◆4月

8日:春山幼稚園始業式、小学校中学校入学式・始業式
24日:職場説明会

◆5月

11日:南中学校新入生情報交換会
14日:職場説明会
15~18日:中学校夏季総合体育大会
16日:新郷第二小学校との連絡会
25日:羽生市陸上記録会
28日:南中体育祭、職場説明会
31日:支援級合同学習会

◆6月

1日:園内新任職員研修
10日:園内生(性)教育グループワーク(高校生)
17日:園内生(性)教育グループワーク(中学生)
20日:星野 Dr 職員相談
24日:6年生社会科見学・埼児研新任職員研修
24~26日:南中修学旅行
25日:職場説明会

◆7月

2日:AED・心肺蘇生講習
6・7日:関東ブロック児童養護施設研究協議会
8日:CAP 職員ワークショップ
10日:園内生(性)教育グループワーク(幼児・小学生)
16日:県社協就職説明会(Zoom)
20日:小学校中学校終業式
30日:職場説明会
22日:春山幼稚園夕涼み会
25日~:南中第三者面談・表札訪問

いつも温かいご支援ありがとうございます

～寄贈品～

(R3.12~R4.3)



松本牛乳、(株)ケンゾー、あゆみ学園、埼玉県茶業協会、ヤクルト、和田百貨店、ほっともっと、羽生市社会福祉協議会、(株)かねか苑葬祭、日本鏡餅組合、島田精肉店、梅林堂、毎日新聞東京社会事業団、日本出版販売株式会社、チュチュアンナ、ハネスト、やくらいフーズ、ケヤキホーム、フードバンク北関東、羽生の杜、ダイナム、HAND IN HAND、関根繭子、檜木義之、久保田春子、飯島桂子、河田美登里、笈川國子、小茂鳥鈴子、岩浅尚子、小林静子、堀口精一、田中峰雄、小原ゆう子、轟井佳津子、井桁明哉、内海哲也（敬称略・順不同）



《編集後記》

コロナと共存する生活が始まって3回目の年度がスタートし、3か月がたとうとしています。2年続けて計画倒れに終わった棟旅行を、今年こそは…と、どの棟の職員も、感染の様子をうかがいつつ、子ども達の思い出に残るイベントに！と意気込み計画している最中です。

嫌な事件や映像を見るのもつらい終わりの見えない戦争のニュースなど、気持ちが揺れて不安になりがちですが、これからやってくる容赦ない暑い夏に向けて、職員も子ども達も免疫力を高めるべく、よく食べよく寝て前向きに元気に過ごしていきたいです。



担当 矢板 小島